

【第3編 資産運用 4-1】株式投資を始めるにあたって

～株式投資の面白さはどこにあるのか？～

(1)株式は「資産」のひとつである

①資産とは資本を生むもの

- ・株式→出資するとその会社のオーナーになる
- ・債券
- ・不動産

(2)企業の「オーナー」になるということは

(例)YAHOO! 時価総額(会社全体の値段)3兆2,511億円(2020年8月21日現在)

→持分に応じて、企業の利益の分前がもらえる

→株主総会に参加して、意見を述べたり、質問したりできる

①企業の収入はすべて株主のもの!

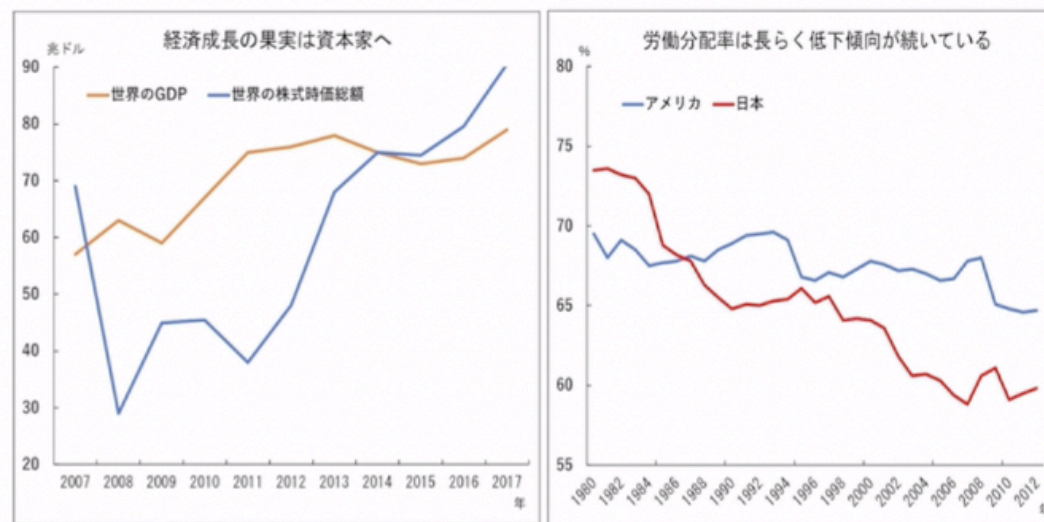
→企業の収入(売上高)-経費=利益(※利益の一部は役員のボーナスに)

→利益の一部が配当へ(20~30%)

→残りは内部留保へ

(3)「資産を持つ」ということの意味

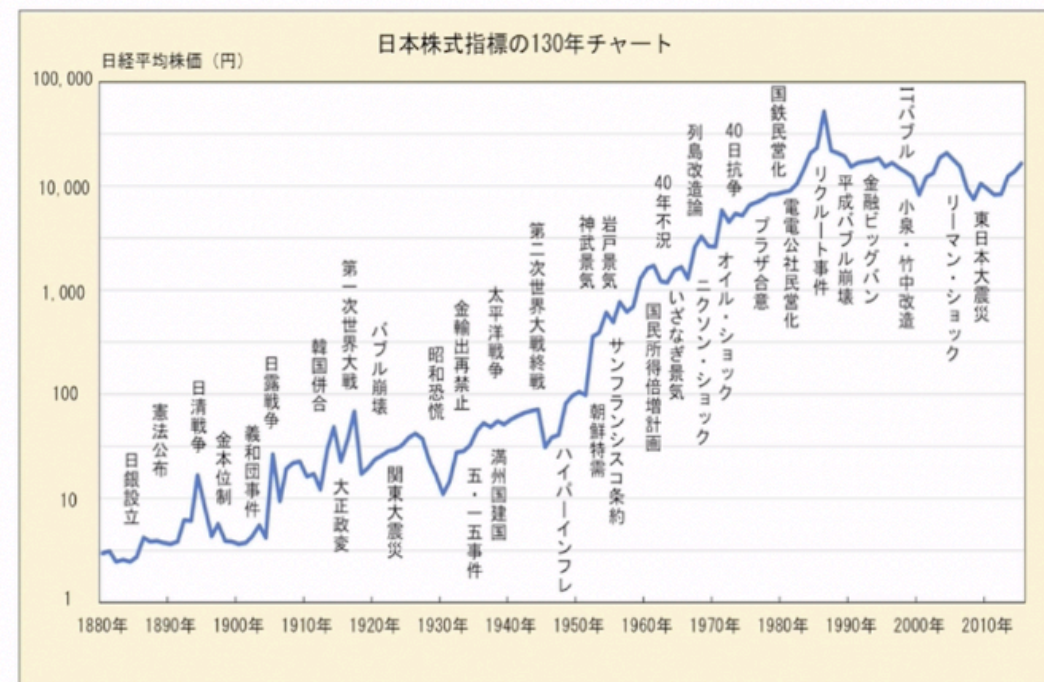
①経済成長の果実は資本家へ



(※人口は増加している)

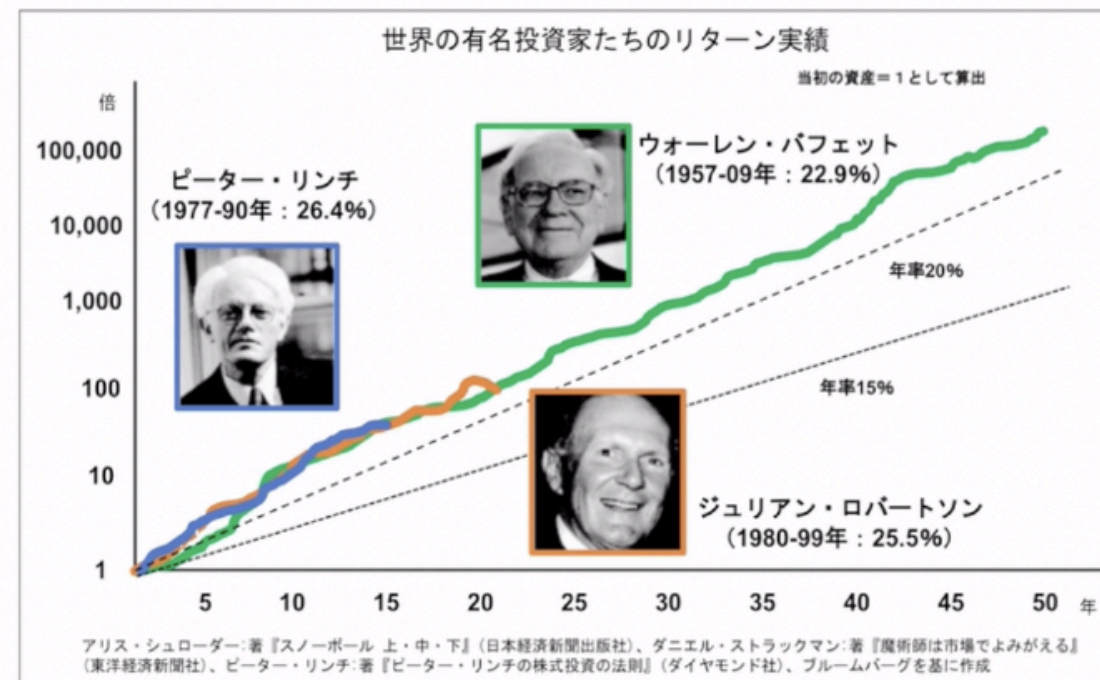
②労働分配率は長らく低下傾向が続いている

(4)金融ショックやバブル崩壊に一喜一憂しない



(5)世界の有名な株式投資家たちの実績(年率平均)は？

- ・ウォーレン・バフェット氏:22.9%
- ・ピーター・リンチ氏:26.4%
- ・ジュリアン・ロバートソン:25.5%



(6)個別銘柄が何倍にも値上がりする可能性

→日常生活の中にヒントがある！

①パズドラ:5年間で約210倍



②RIZAP:8年間で約1,200倍



(7)株式投資を始めるにあたって必要な最低金額は？

①株価:1 株あたり

「ニトリ 株価」で検索



②100 株ずつ購入が原則だが、最近では 1 株ずつ購入も可能

→金額指定で購入可能(100 円分の購入も可能)

→単元未満式株式